



らびっとにゆうず VOL116 2006年7月7日号

発行：特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ（通称 アリスセンター）
TEL045-212-5835 FAX045-212-5826
E-MAIL alice@jca.apc.org http://www.jca.apc.org/alice

トピックス

かながわNPO研究会 「変わる法人制度連続学習会」第1弾「公益法人制度改革とNPO」

2006年5月26日、公益法人制度改革に関連する3法が成立し、2008年11月末までには施行されることとなります。この関連3法により、公益法人（社団法人と財団法人）と中間法人は、大きく2つに分けられます。ひとつは届け出だけで設立できる一般社団法人と一般財団法人で、会費や寄付も含めてすべて課税対象となります。もうひとつは、一般社団法人や一般財団法人の中から公益性を認定された法人で、これらが公益法人として、収益事業以外は非課税となり、税制優遇も受けられることとなります。

公益法人制度改革の議論の過程で、一時はNPO法人もこの新しい制度に一本化される案も出されていましたが、NPO関係者等の強い抵抗で、今回の公益法人制度改革からはNPO法人は除外されています。とはいえ、この関連3法の成立にともない、NPO法も若干の改正がなされていますし、NPO法人も今後全く影響を受けないとはいえません。公益法人制度改革で何が変わったのか。NPO法人制度へどのような影響が考えられるのか。日本における公益的な活動がどのような方向に向かうのか。

公益法人制度改革やNPO法人制度の検討過程に深く関わってこられた、雨宮氏を講師に迎えて、考えます。かながわNPO研究会では、10月に新会社法等をとりあげる「社会的起業と法人制度」（仮題）、12月にその他の法人制度も含めた「法人制度のゆくえ」（仮題）の学習会を予定しています。

- 日時：8月2日（水）18:30～20:45 ● 会場：かながわ県民センター1501会議室 ● 参加費：1,000円
- 講師：雨宮孝子氏（明治学院大学大学院教授） 問合せ・申込みかながわNPO研究会事務局
- アリスセンターTEL045-212-5835 FAX045-212-5826 メールalice@jca.apc.org

市民レポート「新しいことにチャレンジしたい」日産ラーニング第8期奨学生 古賀健太郎

ゼミに入れずに落ち込んでいた大学3年の春、せつかくできた時間を使って新しいことにチャレンジしたいと思い、日産NPOラーニング奨学金制度に応募した。約8ヶ月間という長期間にわたる活動を通じて、それまで未知の世界だったNPOという世界を覗くことが出来たし、何より自分の将来について真剣に考えるきっかけとなった。

私が受け入れてもらったまちづくり情報センターかながわ（通称アリスセンター、以下アリスと表記）は、NPO団体の運営や会計に対するアドバイス、神奈川県内の市民活動を周知、セミナーの開催、行政への提案など、「NPOのよろず相談所」とでもいうような活動を行う団体だった。私はその中で主にアリスに送られてくる大量のニュースレターやメールからイベント情報を抜き出してアリスのホームページにアップしたり、ファイルに整理したりするという仕事をやっていた。地道な作業であり正直退屈してしまうこともあったが、この作業を続けるうちに自然にNPOに関する知識が蓄積されていき、電話の応対など他の業務もスムーズにいくようになった。また、休日を利用して気になった団体の活動に参加するようになった。

一方、大学3年ということもあってこのようなNPO活動と並行して就職活動も行っていた。多くの学生と同じように、就職活動を始めた当初は自分が将来何がやりたいのかということについてよくわからなかった。闇雲に説明会等に参加し、それでもやりたいことがみつからない。周りの友人が将来に向けて着々と準備を続けていく中で自分だけが取り残されていくような気がしていた。

そうこうしているうちに2月になった。アリスの職員の方との何気ない会話の中にも終わりが近いことを感じてしまう。ふとしたときにこれまでの約8ヶ月のNPO活動を振り返ることが多くなった。それまでに会った多くの人の顔が思い浮かぶ。住んでいる町の川を守るため一生懸命な人、本当に地域のために思って休日出勤で働く公務員の方、荒れた杉の林を再生するために働く道志村の若いお兄さん etc. みな地域を守るために、そしてよりよい地域にするために精一杯頑張っていて、表情は生き生きとしていた。銀行や外資系の金融機関で働く大学の先輩方の冷めた表情と対照的だった。このように奨学生としての活動を振り返る中で、自分は地元に戻って地元のために働きたいと思うようになった。そしてその考えに従って就職活動を行い、地元の鉄道会社で来春から働くことになった。

この奨学金制度はNPOについて学びたいと思っている学生を対象にした制度であるが、それ以外の学生の方も是非積極的にチャレンジし、活動してもらいたい。私のようにひよんなことがきっかけで将来についてのヒントが得られるのかもしれないのだから。活動中に出会う様々な人と話をし、せつかく与えられた機会を無駄にしないで欲しい。

最後に、この様な機会を与えてくださった日産自動車の方々、また、就職活動と大学でなかなか活動に参加できなかった私を温かく見守ってくださったアリスセンター職員の方々、本当にありがとうございました。

市民レポート 「日産ラーニング奨学生」

嶋田 繁 (2005年度まちづくり情報センターかながわ研修生。現・我孫子市市民活動支援課)

特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ(通称アリスセンター)ではこれまで多くの日産ラーニング奨学生を受け入れていますが、プログラム終了後もボランティアとしてアリスセンターの活動に関わる人も少なくありません。このことは学生にとってこのプログラムが単なる体験で終わらず、NPOの理念と活動に共感を得て、自分たちも何らかの活動に携わっていきたいと思うようになったことを示しているのではないのでしょうか。

第8期日産ラーニング奨学生である古賀さんもアリスセンターでの仕事を通して「何か」を感じ、体得したと思います。アリスセンターはまちづくりのための政策提言や調査研究のほか、NPOや市民活動団体の支援のため主に神奈川県内で活動する各団体の情報の収集と提供を行っています。その一環として市民活動の現場取材し、自分の言葉で作成したレポート記事をホームページなどに掲載する市民レポート制度を実施していますが、その作成段階ではあらゆる分野の団体の活動現場に実際に赴き、実際に活動していらっしゃる方々からお話を伺います。実は私自身も昨年度、我孫子市市民活動支援課の研修生として一年間にわたりアリスセンターの活動に携わらせていただき、学生のみなさんとともに市民レポートを担当しました。その経験の中で特に強く感じたのは、いかに多くの市民の方々が地域社会の課題解決のために自ら情熱を持って取り組んでいるかということでした。古賀さんも市民レポートをきっかけにして、これまであまり目を向けることの少なかった地域に関心を持つようになったといいます。そして今進めている就職活動でも、これまでとは視点を変え、自分の出身地でまちづくりに関わることのできる仕事や会社を選びたいと考えようになったと、将来の夢を語ってくれました。

現在は地域コミュニティの衰退が叫ばれて久しく、何かの機会や縁がなければなかなか地域とのつながりを持たずに過ごしてしまいます。特に会社勤めをしている我々若い世代にとって地域は単に寝に帰るだけの場所になりがちで、地域の市民活動への参加は進んでいません。こうした状況の中、NPOで地域の市民活動に関わるチャンスを得たこと、そしてそれを実践する人々と長期にわたってともに仕事をし、そのセンスを肌で会得する時間を学生時代に得られたことは、大変貴重なことだと思います。今後も日産ラーニング奨学生制度を活用して一人でも多くの若い方が、地域活動やNPOの世界を実地に体験し、その経験を元に将来自分たち自身でも行動を起こすきっかけにしていればと切に願っております。

たあとる通信20号発売

- NPOと行政の契約のあり方を考える～「協定」の事例から
- 座談会「指定管理者制度における協定は、NPOと行政の協働を生み出すか！」
三野靖 (地方自治総合研究所研究員)
菅原敏夫 (地方自治総合研究所研究員)
小島聡 (アリスセンター・法政大学人間環境学部教授)
- 自治体と民間との「協定」の今日的意義
嶋海正泰(横浜地方自治研究センター理事長)
- レポート

1. 大規模市民会議における協定の意味「みたか市民プラン21政策に関するパートナーシップ協定」を事例に
水谷衣里 (アリスセンター理事・三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社研究員)
2. 都市の環境の保全・形成と協定
佐谷和江 (アリスセンター理事・株式会社計画技術研究所代表取締役)

たあとる通信→ <http://www.jca.apc.org/alice/npoturtle.html>

購入申し込み→ http://www.jca.apc.org/alice/npoturtle_konyu.html

今日のアリス

アリスセンターに新しく3スタッフが加わることになりました。彼らも少しずつ日常業務をこなし始めました。

川崎：会計と名簿、わかった？

藤枝：アリスの会計って赤字ばかり出てきますが、間違いではないんですね。

飯塚：名簿管理のためにマニュアルがあるとわかりやすいので、作ってみました。

川しま：へえー、みんな、理解が早いわね。私は何をどう教えていいかわかんないから。もう年だよな。

土屋：僕はまだ日数も短いので、まだ慣れていないというところで、加齢が原因でないことは確かです。

ともかく世代交代はちゃくちゃくと進んでいます。

第12回 たあとるセミナー！！～NPOと行政の契約・協定を考える～

指定管理者として施設の管理運営を担うNPOも増えてきました。委託契約等と違い、指定管理者と自治体の間では、「協定」が締結されます。今回のたあとるセミナーでは、指定管理者制度における協定に焦点をあて、指定管理者と自治体の関係や協定の位置づけ、協定によってこれまでの委託契約等とは違った関係形成が可能なのか、地域社会にどのような影響を与えるのかなど、その可能性や課題を探ります。

- 講師：三野 靖氏 (財) 地方自治総合研究所 研究員 ● 日時：7月27日 (木) 18:30-20:45
- 場所：かながわ県民センター403号室 (横浜駅西口 徒歩5分)
- 参加費：アリスセンター正会員 (無料) アリスセンター準会員 (1,000円) 一般 (2,000円)
- セミナーではたあとる通信20号を参考としますので、アリスセンター会員の方はご持参ください。
- 会場でもお求めになれます。
- 主催：(特) アリスセンター <http://www.jca.apc.org/alice/> メールalice@jca.apc.org
- <http://www.jca.apc.org/alice/npoturtle/20.pdf> Tel : 045-212-5835 FAX 045-212-5826

いべんとあんない



基本的に新着情報のみをお知らせいたします。予定が変更される場合もありますので、イベントに参加される方は、必ず主催者に確認をお願いします。イベント情報をお寄せください。インターネットをお使いの方は、アリスのHPに情報掲載依頼欄があります。 <http://www.jca.apc.org/alice/event/index.html>
お使いでないかたは、イベントのチラシをFAXしてください。Fax：045-212-5826

7月14日（金）18時30分から

講演会「売られ続ける日本と米軍再編」

内容：京都大学大学院教授 本山美彦先生の講演
連絡先：斉藤つよし事務所
TEL:045(681)7733 FAX:045(681)1681,046(251)7604
会場：かながわ県民サポートセンター

7月14日（金）19:00～21:00

JCO臨界事故7周年行動立ち上げ集会

内容：[1999年当時の政府・首脳を震撼させた大事故！] 東海村JCO臨界事故被曝者一大泉恵子さん—は語る 「原子力事故、身体ヒバク、その後の困難……」 基調報告、行動提起、その他
主催：たんぽぽ舎 9・30JCO臨界事故7周年行動実行委員会 資料代：800円
連絡先：101-0061千代田区三崎町2-6-2ダイナミックビル5F tanpoposya@jca.apc.org
TEL:03-3238-9035 FAX:03-3238-0797
<http://www.jcan.net/tanpoposya/hyoushi.htm>

7月15日（土）午後1:00～4:30

子育て支援に生かすグループワーク体験講座

内容：子育て支援活動におけるグループワークを効果的に進める方法を実際に体験しながら学ぶワークショップ（参加型講座）です。講師のイエジャさんが中心になって運営している平塚市子育て支援センターのひろばには毎日およそ150人の親子が訪れます。多くの親子に愛される秘訣はどこにあるのでしょうか。
主催：男女共同参画センター横浜南
連絡先：フォーラム南太田
TEL:045-714-5911 FAX:045-714-5912
申込方法：電話またはFAXで先着順で受付中。
参加費：1,200円（お茶つき）
会場：フォーラム南太田

2006年7月15日（土）13:00-

高藤菜穂子さんを招いて

内容：結成1周年集会 映像&トーク「命に国境はない」報道の見えない壁の向こうでイラクでは何が起きていたのか？
主催：たかつ9条の会 TEL:090-9382-2426
参加費：800円 学生・無料
会場：すくらむ21（東急田園都市線溝の口駅、男女共同参画センター044-813-0808）

2006年7月16日（日）～17日（月・祝）10:30～17:00

写真展「イスラエル・パレスチナの素顔—学生の視点から—」

内容：紛争、テロなどのセンセーショナルなイメージとは一味違うイスラエル・パレスチナの日常の様子を 学生の撮影した写真を通じてお伝えします。 ※DVD上映とイスラエル・パレスチナ滞在報告会同時開催 info@jipsc.org
主催：日本・イスラエル・パレスチナ学生会議
連絡先：日本・イスラエル・パレスチナ学生会議
TEL:080-6582-2703 FAX:045-896-2299
<http://www.k-i-a.or.jp/news/shashin.html>
会場：あーすぷらざ3階企画展示室

7月18日（火）17:00から19:30

第2回東京湾のアマモ場・浅海域再生勉強会

内容：1)金沢湾におけるアマモ場再生の取り組み。金沢八景—東京湾アマモ場再生会議 木村尚
2)東京湾の環境改善のための海藻養殖 海辺つくり研究会 森田健二
主催：海辺つくり研究会 umibeken@nifty.com
連絡先：220-0023横浜市西区平沼2-4-22-202
TEL:045-321-8601 FAX:045-317-9072
<http://homepage2.nifty.com/umibeken/>
会場：かながわ県民センター 2階 ホール

07月19日(14:00～16:30)

人を通して世界を知る”地球市民ひろば（第2回）「演劇をとおして学ぶ持続可能なまちづくり」

内容：フィリピンで演劇を活用した参加型まちづくりを行っているPETA（フィリピン教育演劇協会）をゲストにお招きしします。演劇を「持続可能なまちづくり」に生かす手法をからだを動かして体験しながら学びませんか？
主催：民衆演劇とESDアジア太平洋ネットワーク・日本委員会（PENAP-J） / （財）ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）
連絡先：（財）神奈川県国際交流協会学習サービス課
会場：あーすぷらざ1階ワークショップルーム

第1回：2006年7月22日（土）15時～ ○第2回：2006年7月24日（月）19時～

UNHCR難民映画祭 タイドキュメンタリーシネマデック 子どもたちは海を見る”上映のお知らせ
内容：UNHCR世界難民の日。難民に焦点を当てた映画

祭が日本初上陸！全国各地で自主上映され好評を得ている“デッキ 子どもたちは海を見る”（タイドキュメンタリーシネマ）が上映されることになりました。

主催：国際連合難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所
連絡先：〒231-0821 横浜市中区本牧原3-1-203
TEL:045-622-9661 **FAX:**045-622-9661 port@tpak.org
<http://www.tpak.org/dek/home.htm>

申込方法：地球市民ACTかながわ **参加費：**無料
会場：○第1回上映場所：スウェーデン大使館：東京都港区六本木1-10-3-100（地下鉄南北線六本木1丁目駅）**TEL:** 03-5562 5050○第2回上映場所：東京日仏学院：東京都新宿区市谷船河原町15（JR飯田橋駅西口より徒歩7分）**TEL:**03-5261-3933

7月22日（土）-8月27日（日）

写真展 世界の洗浄から

内容：9・11同時多発テロからパレスチナでの対立激化、アフガン空爆、イラク戦争とここ数年時代が恐ろしい勢いで動いています。しかもこの先に何が待ち受けているのか、誰もわからないでいます。私たちがどこに立っていて、どこに行こうとしているのか、知ることもきわめて困難です。

主催：神奈川県立地球市民神奈川プラザ
会場：あーすぷらざ1階ワークショップルーム

7月22日（土）9:00-12:00雨天23日（日）

大岡川生き物調べ

内容：横浜のど真ん中を流れる大岡川は、全長15kmで源流は磯子区氷取沢の円海山付近から流れだし、中流では上大岡駅の前を流れ、桜木町の日本丸付近で横浜港に注ぎます。

主催：大岡川流域まちかわ衆tadoru@ar.wakwak.com
連絡先：横浜市南区弘明寺102
TEL:045-741-3462 **FAX:**045-741-3462
参加費：300円（資料代）
会場：青木神社（上大岡駅から5分、青木橋横）

7月22日（土）午後1時30分～午後3時30分

DV・ひとりで悩まないで～みえない被害者、子どものためにも～

内容：内閣府の調査では3人に一人の女性がDVの被害を受け、神奈川県調査ではDVのある家庭での子どもの8割が虐待を受けていることが明らかになりました。DVが直接の被害者だけではなく、子どもや家族に対して与える影響は深刻です。

主催：相模原市男女共同参画推進センター（ソレイユさがみ）みずら
連絡先：〒229-1103神奈川県相模原市橋本6-2-1シェイ・プラザはしもと内**FAX:**042-775-1776
TEL:042-775-1775(第4月曜日は休館)

7月23日（日）13:00～17:00

靖国神社・遊就館 見学ツアー

内容：私たちは、中国や韓国が反対するから小泉首相の靖国参拝に反対なのではありません。日本の戦争責任を考えて、靖国神社の果たした役割

を冷静に見て、靖国神社に反対するものです。

主催：たんぼぼ舎
連絡先:101-0061千代田区三崎町2-6-2ダイナミックビル5Fたんぼぼ舎気付
TEL:03-3238-0056 **FAX:**03-3238-0797
tanpoposya@jca.apc.org
<http://www.jcan.net/tanpoposya/hyoushi.htm>
申込方法：先着20名様まで **資料代：**1000円

2006年7月29日（土）13:30～15:30

地球市民学習リーダーセミナー「コンビニ弁当16万キロの旅」

内容：私たちにとても身近なコンビニ弁当。でも、それぞれの食材は、どのような旅を経て、私たちに届けられるのでしょうか。「おもしろい授業」で評判の高い小学校の元校長先生が、実際のコンビニを取材しながら調べた、私たちの知らない便利な食べ物の裏事情の数々……。

主催：（財）神奈川県国際交流協会
会場：あーすぷらざ1F 会議室

7月29日（土）9:00-12:00

日野川で魚の調査をします！

内容：大岡川の支流である日野川の中流部で、魚や川底の生物調査を行います。日野川について知りたい方、生物調査に参加してみませんか？

主催：横浜市環境創造局
連絡先：横浜市環境創造局事業調整課河川計画担当
TEL:045-671-2858 **FAX:**045-664-5873
<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyuu/event/dengonban/date.html> **参加費：**無料
申込方法：事前申込み、先着順30名
締切：7月11日（火）—7月25日（火）
会場：日野川中流新吉原付近

7月30日（日）10時から15時

夏休み親子竹細工教室

内容：親子（おじいちゃん、おばあちゃんでもO.K.）で竹とんぼを作ります。ついでに竹皿、竹のお箸もつくっちゃおう。お昼はそのお皿とお箸いただきます（食事・お茶つき）午後は竹とんぼの飛ばしっこ。

主催：横浜国際プール
連絡先：〒224-0021神奈川県横浜市都筑区北山田7-3-1横浜国際プール夏休み教室
申込方法：往復はがきに参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号を書いて申込先へ
締切：7月20日（木）必着
参加費：3,000円（お食事、お茶、材料費含む）
会場：横浜国際プール教室Z801

7月30日（日）雨天の場合8月6日（日）

相模川でかんたん水質調査と生物観察！

内容：川の中にはどんな生き物がいるのか、川の水はきれいかなどなど。

主催：地球チャイルド
申込方法：定員30名（小中学生とその保護者）

参加費：500円（保険代、教材費など）

会場：相模川河川敷

8月6日（日）10:00～15:30

竹の学校「竹林管理コース」

内容：日本の竹林をまちづくりに活かす「筍栽培から竹林管理までの実際を理論と実技で学ぶ、9回連続の日本随一の本格講座。8月はその3回目。竹林管理に必要な調査の仕方、正しい親竹の仕立てから、密度管理の方法等を学びます。

主催：日本の竹ファンクラブ FAX:045-912-6419

連絡先：〒224-0001 横浜市都筑区中川2-9-1-602「竹の学校」竹林管理講座係

nihonno-take.fc@lobe.email.ne.jp

<http://homepage3.nifty.com/TaKe-Funclub/>

申込方法：往復はがきに参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号を書いて申込先へ

参加費：500円（会員400円）

会場：小机城址市民の森（横浜線小机駅から15分）

8月13日（日）

藍の葉っぱで青染め体験！

内容：藍から染め液をつくり自分オリジナルなハンカチを作ります。

主催：地球チャイルド 連絡先：松本

TEL:045-341-9441または090-8563-9198

申込方法：定員30名（小中学生とその保護者）

参加費：500円（保険代、教材費など）

会場：綾瀬市吉岡の地球チャイルド畑

8月15日（水）～8月16日（木）

コトバを超えて、文化を超えて、今のジブンを超えて行け！ Young Americans Meet Japanese Youth

内容：アメリカのNPO団体「ヤングアメリカンズ」を日本に招き、彼らと同世代（18歳～25歳）の日本の若者を対象とした、音楽やダンスを通じた異文化交流プログラムを実施します。

主催：NPOじぶん未来クラブ

TEL:03-5774-6314 FAX:03-3407-1243

saki@jibunmirai.com

<http://www.jibunmirai.com/ya/>

参加費：12,000円（教材、Tシャツ、ショーチケット2枚を含む）

会場：神奈川県立青少年センター（桜木町徒歩10分）

8月19日（土）9:00～12:00

黒須田川で魚の調査をします！

内容：鶴見川の支流である黒須田川の中流部で、魚や川底の生物調査を行います。黒須田川について知りたい方、生物調査に参加してみませんか？

主催：横浜市環境創造局

<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyuu/event/dengonban/date.html>

連絡先：横浜市環境創造局事業調整課河川計画担当

申込方法：事前申込み、先着順30名

締切：8月1日（火）—8月15日（火）

会場：青葉区大場町と鉄町の境、黒須田川中流「子金橋」

2006年8月20日 10～17時

ビデオAS講座

内容：テーマ アスペルガー症候群のある子どもへの支援～ 気づき、そして真の支援へ

主催：神奈川オアシス

TEL:050-1030-4991 FAX:050-1030-4991

<http://www.rak2.jp/town/user/oasisuclub/dialy1.html>

会場：ソレイユさがみ セミナールーム2 JR横浜線、相模線、京王線 橋本駅北口駅前SATY 6階

8月26日（土）9:30～12:00

大岡川河口部の横浜開港の歴史散歩

内容：横浜の歴史というよりむしろ日本の歴史がここ横浜にはあります。長い鎖国から解き放たれ、横浜の港は世界に向け開港しました。現在に残る開港の史跡などをめぐります。

主催：NPO法人 横浜シティガイド協会

TEL:045-662-2560 担当幸山 FAX:045-662-2560

担当幸山 <http://www.ycga.com/>

会場：JR桜木町駅 改札口付近集合

9月13日・20日・27日・10月4日水曜日 全4回 10時～11時30分

できてる？親子のコミュニケーション

内容：せっかく親子として出会ったのだから・・・いい関係を築きたい、一緒に成長していきたい。心のつながりを感じながら、ちゃんと子どもの自立をサポートしていける。

主催：NPO法人ナチュラルファミリーアンドワン

TEL:045-788-0495 FAX:045-788-0495

nafe06@za.bb-east.ne.jp

申込方法：8月13日から、受付スタート！

参加費：2000円（テキスト代込み）全4回分

会場：男女共同参画センター横浜（フォーラム）セミナールーム3 JR・地下鉄「戸塚」より徒歩7分

9月16日（土）小雨決行

竹林整備&秋の味覚狩り（あしがら竹林再生事業）

内容：手入れがなされず高配したマダケ竹林の間伐など整備作業を行います。昨年度から述べ300人あまりのご参加をいただき、整備されてきた竹林は美しく蘇りつつあります。

主催：日本の竹ファンクラブ FAX:045-912-6419

連絡先：〒224-0001 横浜市都筑区中川2-9-1-602「竹の学校」竹林管理講座係

nihonno-take.fc@lobe.email.ne.jp

<http://homepage3.nifty.com/TaKe-Funclub/>

申込方法：往復はがきに参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号を書いて申込先へ

参加費：700円（貸し切りバス）+味覚狩り代（300円程度）

会場：神奈川県中居町 横浜駅西口天理ビル前7:45

**ニュースレター（神奈川県内・
県外は初めてのものなどを紹介）**

2006.06.20

LET'S NEWSLETTER No. 92

内容:今後のLET'Sの活動予定 7月4日国際理解トークサロン、7月9日 サロンDEコンサート 7月11日 LET'S CHAT TIME 7月18日 RAINBOW CLUB /報告事項/関連事業など

主催:LET'S国際ボランティア交流会

連絡先:川崎市高津区 lets@inthe.info

http://inthe.info/lets/old_index.htm

2006年6月発行

さなぎ達通信 VOL. 7

内容:「孤独死ゼロ」の青写真/山谷ホスピスに行ってみました/さなぎ達では引き続き以下のものを必要としています1)洗濯用洗剤など生活必需品 2)男性用靴下・下着 3)男性用靴 4)植物、野菜などの種 5)プランター・鉢 6)お米 7)野菜 8)移動しやすい毛布など/

主催:(特)さなぎ達

連絡先:〒231-0025神奈川県横浜市中区松影町3-10-3第1浜松ビル1階

TEL:045-228-1055 sanagitachi@nifty.com

<http://www.sanagitachi.com>

申込方法:正会員¥5,000 サポーター¥1,000 郵便振替00260-8-65127 三井住友銀行横浜支店普通6967937

2006.6.13

監視団ニュース No. 351

内容:気をつけよう!「最終報告」という魔法の言葉「県民の命と暮らしを守る共同行動委員会」基地部会要求趣旨(相模補給廠監視団)/ニュース購読料と一時金カンパを/原子力空母の母校かに反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議、7年目の活動にスタート/在日米軍(基地)再編-神奈川県の自治体は何を獲得しつつあるのか

主催:相模補給廠監視団

連絡先:相模原市富士見4-5-24

TEL:042-756-9460 FAX:045-756-9460

申込方法:郵便振替:00210-7-36542

2006.7.1

みずら通信 No. 193

内容:再婚夫の連れ子に我が子がいじめられ、保護を求めたMさん、「絶対もどらない」と娘が言うのでがんばります/第1シェルター日誌 別夫から暴力と監視のSさん 甲状腺障害で病気療養 /DVで自費アパートのEさん母子 安心入居制度に慣れない関係者/第2シェルター日誌 夫はDV,子どもにも暴力のGさん 本人もストレスを娘にぶつける/

主催:かながわ・女のスペース“みずら”

連絡先:〒221-0057 横浜市神奈川区青木町2-1-613

TEL:045-451-3776 FAX:045-451-6967

申込方法:会員2,000円 賛助会員(県外の女性とすべての男性年会費)10,000円 郵便振替00230-7-64695 かながわ・女のスペース“みずら”

2006年7月

日本の竹ファンクラブ通信 No26

内容:感動と喜びを創る...竹林を造る!「竹灯籠まつり」がつなぐ竹林再生の輪/第2回竹まつり「竹のこ掘り」「竹を楽しむコーナー」/あしがら地域の魅力と中居町のフィールドを知る...「マダケのたけのこ狩りとあしがら花紀行」レポート/竹取協力隊//

主催:日本竹類総合研究所・日本の竹ファンクラブ

連絡先:〒224-0001 横浜市都筑区中川2-9-1-602

TEL:045-912-6419 FAX:045-912-6419

<http://homepage3.nifty.com/TaKe-Funclub/>

2006年6月30日

古着伝言板

内容:FRNは日本の衣文化の発信地~FRNの和布道を作ろう~/和布の花ブローチの講習会に呼ばれて~埼玉消団連の環境学習会~/春のリサイクルきものフェア大盛況に終わる/秋のリサイクルきものフェア10月24日(火)

主催:ファイバーリサイクル・ネットワーク

連絡先:〒232-0017神奈川県横浜市中区宿町2-40大和ビル101

TEL:045-710-6507 FAX:045-710-6508

jimfiber@orange.livedoor.com

<http://jimfiber.ld.infoseek.co.jp/>

2006年7月

子育てまち育て伝言版 VOL37

内容:当事者発~私たちからできること/子育てまち育てまち育て塾 子育て応援講座「子育て支援は親支援」~親がもどめるものってなんだろう~/マクロビオティック料理教室/子連れのためのもうひとつの居場所/

主催:子育てまち育て塾

連絡先:〒233-0003 横浜市港南区港南4-2-8 港南区福祉保健活動拠点内

TEL:045-921-0543(田幡) FAX:045-921-0543

machisodate@mac.com

<http://www1.c3-net.ne.jp/kosodate/>

2006年6月23日発行

~つながる・ひろがる・豊かになろう~ぴーちくぱーちく vol. 8

内容:フォーラム・アソシエ2006年度の活動スタートにあたり/第3階総会およびアソシエーション・フォーラム開催報告/「食のサロン」がスタートしました!サロンコーディネーター募集中!

主催:フォーラム・アソシエ

連絡先:横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ

生活館5F

TEL:045-472-7093 FAX:045-472-7093

forum-associa@wave.odn.ne.jp

http://www1.odn.ne.jp/forum-associa

助成金情報

平成18年8月1日(火)～

「かながわボランティア活動推進基金21」募集

内容：■1) 協働事業負担金・地域社会に必要な公益的な事業で、ボランティア団体等と県が協働することで効果が高まると期待できる事業(実施：平成18年度)・1000万円を上限として、事業に要する経費を最長5年間負担します。■2) ボランティア活動補助金・地域が抱える課題の解決に向けて自発的に取り組む事業や、社会システムの改革を目指してチャレンジする事業(実施：平成18年度)・200万円を上限として、事業に要する経費の2分の1を最長3年間補助します。■3) ボランティア活動奨励賞 他のモデルとなるような活動に取り組んでいる団体等を表彰し、副賞として賞金(団体100万円、個人50万円を限度)を贈呈します。

主催：神奈川県

連絡先：かながわ県民活動サポートセンター 基金事業課 FAX:045-312-4810

TEL:045-312-1121(内線2831、2832)

http://www.kvsc.pref.kanagawa.jp/kikin/kikinji_gyousyukai.htm

申込方法：募集要項は7月28日より配付、ホームページからもダウンロード可。

締切：1)・2)平成18年9月28日(木)、3)平成18年9月7日(木)。※郵送の場合は消印有効

平成18年公益信託中西茂雄高齢者福祉基金助成金

内容：神奈川県内で行われる高齢者への福祉活動、介護者の負担軽減を図る活動、高齢者の生きがい高める活動に対して助成を行い、それぞれの活動を通して高齢者の福祉の向上につながることを目的としています。

主催：公益信託中西茂雄高齢者福祉基金運営委員会

TEL:045-312-1121(3202) FAX:045-312-6307

tomosibi@jinsyakyo.or.jp

締切：7月25日(火)

8月18日締切(必着)

市民活動推進助成金平成18年度募集!

内容：対象となる経費：平成18年4月から平成19年3月までの事務所の賃借料。(共益費及び消費税を含む。)(限度額：10万円/月に借借月数と1/3を乗じた額)3回以内。

主催：横浜市市民活力推進局市民活動支援

http://www.city.yokohama.jp/me/shimin/tishin/npo/joseikin.html

第2回NPOアクセシビリティ支援プログラム

内容：今年にはNPO法人に止まらず、広くWebアクセシビリティの実現に意欲のある団体に対して支援を行う第2回のプログラムを実施致します。プログラムの詳細、応募要項、申請書は以下をご参照ください。みなさまのご応募をお待ちしております。

主催：NPO法人イー・エルダー NPOアクセシビリティ支援プログラム事務局

info@access-sp.jp http://web.access-sp.jp/

締切：2006年6月19日(月)から7月31日(月)

7月21日(金)～7月31日(月)

2006年度「Panasonic NPOサポート ファンド」

内容：松下電器産業株式会社は、2006年度「Panasonic NPOサポートファンド」の助成団体の募集を開始いたします。本ファンドは、NPOが本来の持ちうる力を最大限に発揮して継続的に安定した活動を行い、よりよい社会づくりに貢献することを目的に子どもたちの健やかな育ちを応援するNPOの基盤強化、および環境問題の改善に取り組むNPOの基盤強化を応援するものです。

主催：(特)市民社会創造ファンド、(特)地球と未来の環境基金、松下電器産業(株) 社会文化グループ TEL:03-3510-1221, 03-5298-6644

FAX:03-3510-1222, 03-5398-6635

http://panasonic.co.jp/ccd/pnsf.html

申込方法：申請受付期間は2005年7月1日～15日。募集要項は6月5日以降に協働事務局JIYDのホームページからダウンロード(できない場合は事務局まで連絡してください)。

締切：2006年7月21日(金)～7月31日(月)

募集・協力

地球環境基金インターンシッププログラム(国内・海外)

内容：日本の環境NGOの新たな展開に即した次世代を担う中核的人材の育成を目的とし、国内外の事業歴が長く、あるいは実績のある団体において、マネージメント手法や行政サイドへの対応等、非営利組織の経営に必要な知識習得や、フィールドでの特定プロジェクト活動を体験する機会を提供します。

主催：(独)環境再生保全機構 地球環境基金

連絡先：〒110-8676台東区下谷3-10-10

TEL:03-5824-0966 FAX:03-5824-0956

締切：平成18年7月28日(金)

オープン「幸市民協働プラザ(愛称：幸タウンカフェ)」

内容：ボランティア・市民活動を促進するための会議・打合せ・講習会、市民と団体あるいは団体同士の情報受発信、団体同士のネットワーク構築、団体と区の協働事業など、さまざまに活用をしてみませんか。また、「さいわい市民活動懇談会」に参加して、運営にも関わってみませ

んか。【場所】：幸区河原町1番地 河原町団地
2号館1階【面積】：64平方メートル

主催：さいわい市民活動懇談会

連絡先：幸区役所地域振興課

TEL:044-556-6606 <http://sawacon.net>

「家庭教育学級を企画・運営する団体」募集

内容：横浜市内で家庭教育学級を企画実施する団体に委託金を支援します。

主催：横浜市社会教育コーナー・横浜市教育委員会

TEL:045-761-4321 FAX:045-761-4321

申込方法：チラシ・要項・応募様式等は区役所広報相談係・地域振興課、生涯学習支援センター、地区センター等にあります。

横浜市青少年育成協会 愛称・シンボルマーク募集！

内容：(1)提案した「愛称」の意味や「シンボルマーク」の意図 (2)住所(3)氏名(ふりがな)(4)年齢(5)学年・職業(6)電話番号(7)メールアドレスをご記入の上、ご応募ください。「愛称・シンボルマーク選定委員会」の審査により決定し、当協会ホームページ等で発表するほか、入選者には直接通知します。■採用作品には、iPod nano をプレゼント！■応募者の中から抽選で100名に記念品を差し上げます。

主催：(財)横浜市青少年育成協会

連絡先：「愛称・シンボルマーク募集」〒231-8454 横浜市中区住吉町4-42-1 横浜市青少年育成センター内 yya-kikaku@yya.ecnet.jp

TEL:045(662)4170 FAX:045(662)7645

<http://www.yya.ecnet.jp/>

締切：2006年8月31日(木) ※郵送の場合は必着

2006年7月～2007年3月 (研修を含んだ期間)

平成18年度「子どもいきいき！どろんこプロジェクト参加者募集！-平成18年度子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)助成活動-

3. 応募条件18～30歳であること活動期間中は現住所を離れ、活動に専念できること ボランティア活動を通じて、積極的に社会に参加する意欲を有すること

5. 活動場所 羽根木プレーパーク(東京都世田谷区羽根木公園内) 大田原自然の家(山口県周南市)

9. 申し込み 所定の申込用紙(ホームページ

<http://www.jyva.or.jp/> から

主催：社団法人 日本青年奉仕協会 どろんこプロジェクト

連絡先：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター

TEL:03-3460-0211 program@jyva.or.jp

<http://www.jyva.or.jp/>

締切：2006年6月30日(金) 必着

8月20日(日)～8月26日(土)

アジアを知るツアー GO GO フィリピン！

内容：NGOのスタッフや住民組織のメンバーから、持続可能な開発について学び考えることができるツアーです。NGOのさまざまなプロジェクトを見学し、漁村でホームステイ、さらに都会も見られるプログラムです。詳しい日程等は、ホームページに掲載しています。

主催：現地プログラム企画：(特活)草の根援助運動

連絡先：〒235-0036 横浜市磯子区中原1-1-28 3F

TEL:045-772-8363 FAX:045-774-8075

office@p2aid.com <http://p2aid.com/tour.html>

申込方法：お電話またはFAX、メールにてお問い合わせください。

詳しい資料をお送りします。

締切：月10日(月)(定員になり次第、締め切ります)

参加費：18万5千円(航空運賃、現地宿泊・食費、現地移動費等。燃油特別付加運賃、海外旅行傷害保険は別料金)*会員ではない方は、別途年会費6千円～(学生3千円)が必要です。

会場：フィリピン・ルソン島ヌエバ・エシハ州、バターン州、コレヒドール島、マニラ

2006年9月2日(土)～9月16日(土)までの毎週土曜日(全5講座)

ボランティア相談スタッフの公募ならびに養成講座

内容：女性の一生を視野に入れ、そこでおこる様々な問題に対する相談を受け、女性の人権を守り、自立のためのサポートを行っています。活動の柱として「女性のための何でも相談室(電話相談無料)」を開設しており、「シェルター」への緊急一時保護も行ってあります。また労働問題の解決機関として一人でも加入できる「ユニオン」を併設し、内容や国籍を問わず相談を受け、具体的な解決を図るためのサポート活動を行っています。相談活動の拡充のため、みずらでは毎年ボランティア相談スタッフの公募を行っています。い公募にあたり今年講座を開催いたします。会場 かながわ県民センター 初回会場は305午後1時30分から受付

主催：(特)かながわ・女のスペース ”みずら”

連絡先：〒221-0057 横浜市神奈川区青木町2-1-613

TEL:045-451-3776 FAX:045-451-6967

申込方法：往復ハガキに住所、氏名、電話番号、年齢、職業、基礎コース希望と明記して郵送。2005年7月1日(金)必着。

10月14日(土)・15日(日)

オータムひろば2006

内容：オータムひろば2006 市民グループによる、ワークショップ、講演、パフォーマンス、フリーマーケット、模擬店の企画を募集します。

主催：男女共同参画参画センター横浜南

TEL:045(714)5911

http://www.women.city.yokohama.jp/etc/autumn_hiroba_boshu.html